

平成28年度  
全国学力・学習状況調査の結果概要

忠岡町教育委員会

# 平成28年度全国学力・学習状況調査 忠岡町結果概要公表について

## (1) 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## (2) 調査の対象学年

- 小学校第6学年、特別支援学校小学部第6学年  
(平成28年4月19日に調査を実施した学校・児童生徒数 大阪府1,000校 74,481人)
- 中学校第3学年、中等教育学校第3学年、特別支援学校中学部第3学年  
( 同 大阪府469校 73,954人)

## (3) 調査の内容

- ①教科に関する調査
  - ・主として「知識」に関する問題 [国語A、算数・数学A]
  - ・主として「活用」に関する問題 [国語B、算数・数学B]
- ②質問紙調査
  - ・児童生徒に対する調査
  - ・学校に対する調査

## (4) 調査の方式 悉皆調査

## (5) 調査を実施した忠岡町の学校・児童生徒数

### ○実施校数

- ・小学校:2校
- ・中学校:1校

### ○実施児童生徒数

- ・小学校:191 人
- ・中学校:176 人

## 公表に関する配慮事項について

平成28年度全国学力・学習状況調査実施要領に基づき、次の点に配慮し公表する。

- 忠岡町教育委員会は、保護者や地域の住民に対し、町内における教育及び教育施策に関する説明責任を果たす観点から、調査結果を公表する。
- 本調査の目的及び調査結果が学力や学習状況、生活状況の特定の一部である。
- 学校ごとの児童生徒の学力の結果が明らかになる公表は行わない。
- 本町は、公立中学校が1校であるため、町教育委員会において公表することが、学校単位の公表となるため、中学校の学力の結果は非公表とする。
- 本町の特徴的な課題と改善方策を公表する。

## 全体の概要について I (学力に関する調査より)

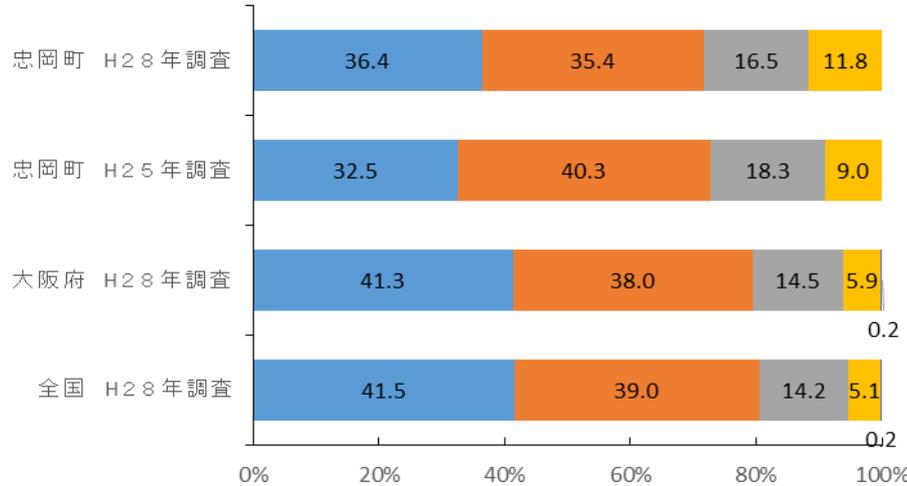
- 【小学校国語】・目的や意図に応じて、質問したいことを整理したり、グラフをもとに自分の考えを書いたりすること。
  - ・平仮名で表記されたものをローマ字で書いたり、ローマ字で表記されたものを正しく読んだりすること。
- 【小学校算数】・示された除数の式を並べてできた形と関連付け、角の大きさをもとに基に、記述できること。
  - ・示された式の中の数値の意味を解釈し、それを記述できること。
- 【中学校国語】・課題を決め、それに応じた情報の収集方法を考えること。
  - ・本や文章などから必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書く文章の構成や展開などを踏まえ、根拠を明確にして自分の考えを書くこと
- 【中学校数学】・加えるべき条件を判断し、それが適している理由を説明すること。
  - ・与えられた式を用いて、問題を解決する方法を数学的に説明すること。

# 全体の概要についてⅡ（学習状況に関する調査より） ～忠岡町学力向上プラン（H25～H27）重点目標にかかる概要の検証～

## ①【授業内容がわかる子どもをふやす】「国語・算数(数学)の授業の内容はよくわかりますか」・・・国語と算数(数学)の合算データ

### 小学校

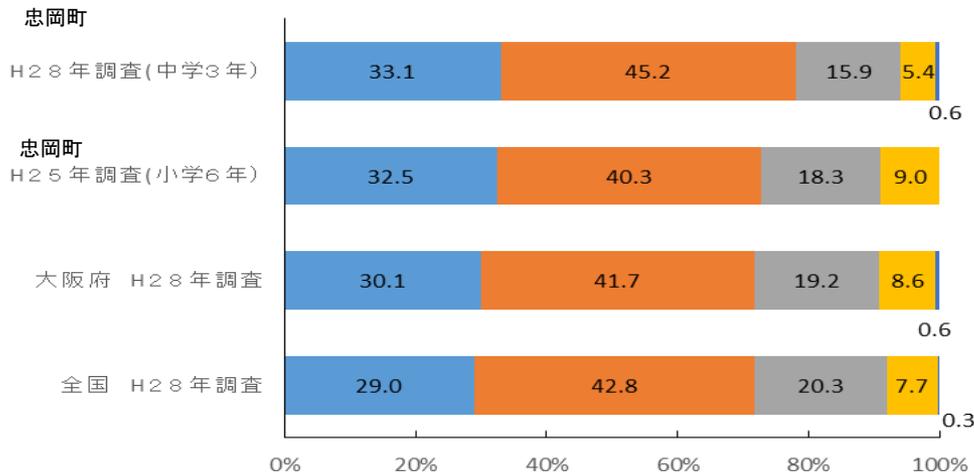
■当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる ■どちらかといえば、当てはまらない ■当てはまらない ■その他



小学校では、学力向上プラン実施開始のH25年度と比較すると「授業内容がよくわかる」の問いに対する肯定的評価「あてはまる」「どちらかといえば、あてはまる」は、72.8%から71.8%に減少しているが、肯定的評価のうち「あてはまる」と回答した児童は32.5%から36.4%と上昇している。

### 中学校

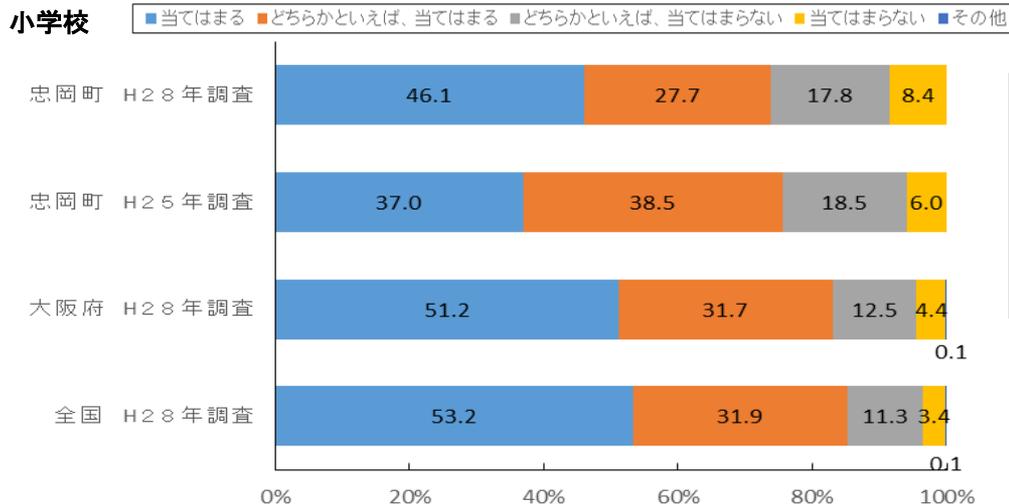
■当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる ■どちらかといえば、当てはまらない ■当てはまらない ■その他



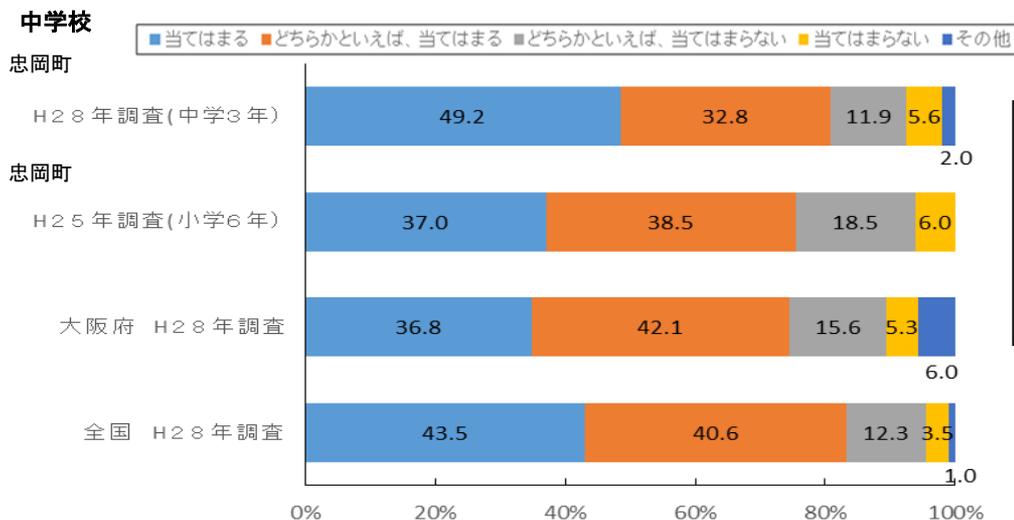
中学校では、学力向上プラン実施開始のH25年度に小学6年生であった児童の追跡調査を行った結果、「授業内容がよくわかる」の問いに対する肯定的評価「あてはまる」「どちらかといえば、あてはまる」は、72.8%から78.3%と上昇している。また、肯定的評価のうち「あてはまる」と回答した児童は32.5%から33.1%と上昇している。

# 全体の概要についてⅡ（学習状況に関する調査より） ～忠岡町学力向上プラン（H25～H27）重点目標にかかる概要の検証～

②【授業で自分の考えをまとめ説明や発表ができる子どもをふやす】「普段の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか」



小学校では、学力向上プラン実施開始のH25年度と比較すると「普段の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか」の問いに対する肯定的評価「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」は、75.5%から73.8%に減少しているが、肯定的評価のうち「あてはまる」と回答した児童は37.0%から46.1%と大変上昇している。

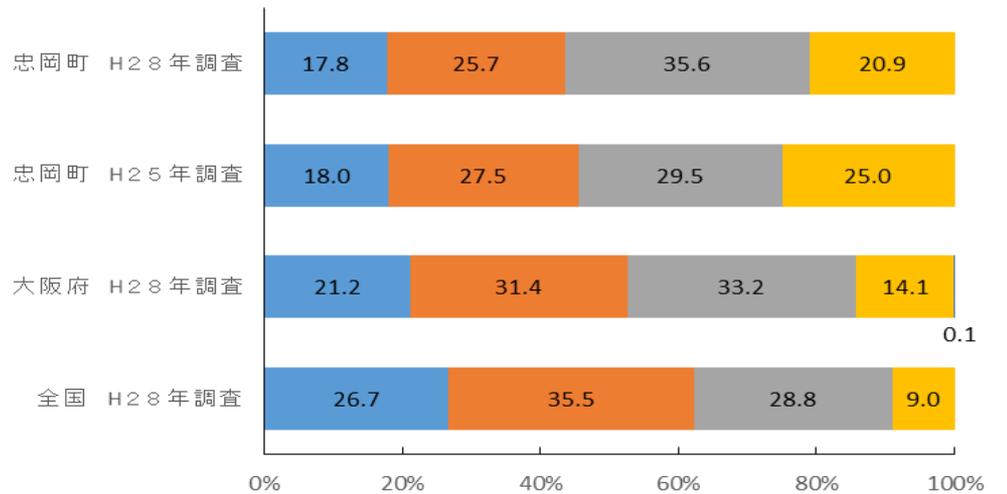


中学校では、学力向上プラン実施開始のH25年度に小学6年生であった児童の追跡調査を行った結果、「普段の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか」の問いに対する肯定的評価「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」は、75.5%から82.0%と大変上昇している。特に、肯定的評価のうち「あてはまる」と回答した児童は37.0%から49.2%と上昇している。

# 全体の概要についてⅡ（学習状況に関する調査より） ～忠岡町学力向上プラン（H25～H27）重点目標にかかる概要の検証～

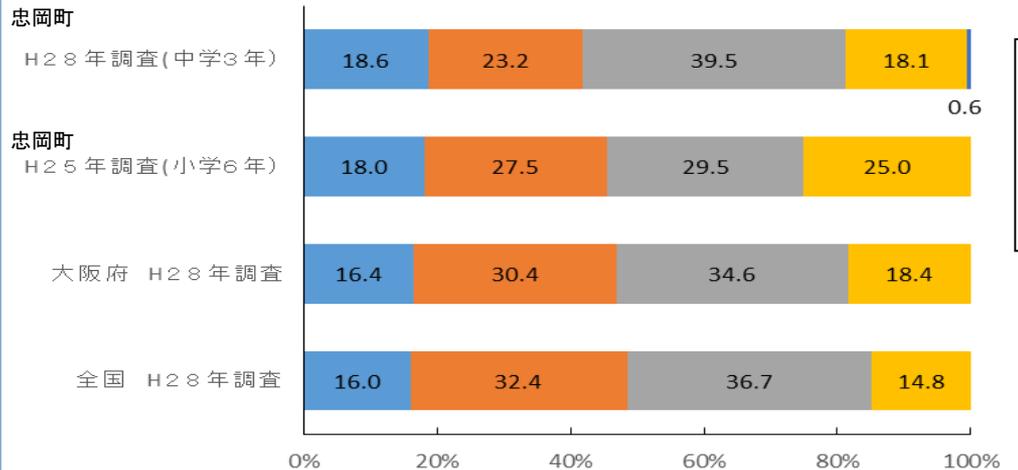
## ③【家で計画的に学習する子どもたちを育てる】「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」

### 小学校



小学校では、学力向上プラン実施開始のH25年度と比較すると「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」の問いに対する肯定的評価「あてはまる」・「どちらかというにあてはまる」は、45.5%から43.5%に減少している。H28年度の全国ならびに府と比較すると肯定的評価はそれぞれ18.7ポイント、9.1ポイントの差があり、課題として認められる。

### 中学校

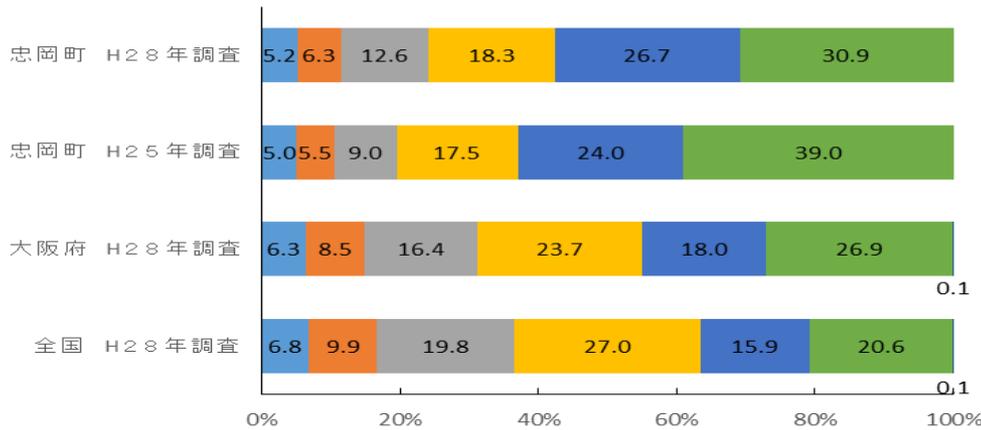


中学校では、学力向上プラン実施開始のH25年度に小学6年生であった児童の追跡調査を行った結果、「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」の問いに対する肯定的評価「あてはまる」・「どちらかというにあてはまる」は、45.5%から41.8%に減少している。しかし、「あてはまる」は、18.0%から18.6%に増加している。

# 全体の概要についてⅡ（学習状況に関する調査より） ～忠岡町学力向上プラン（H25～H27）重点目標にかかる概要の検証～

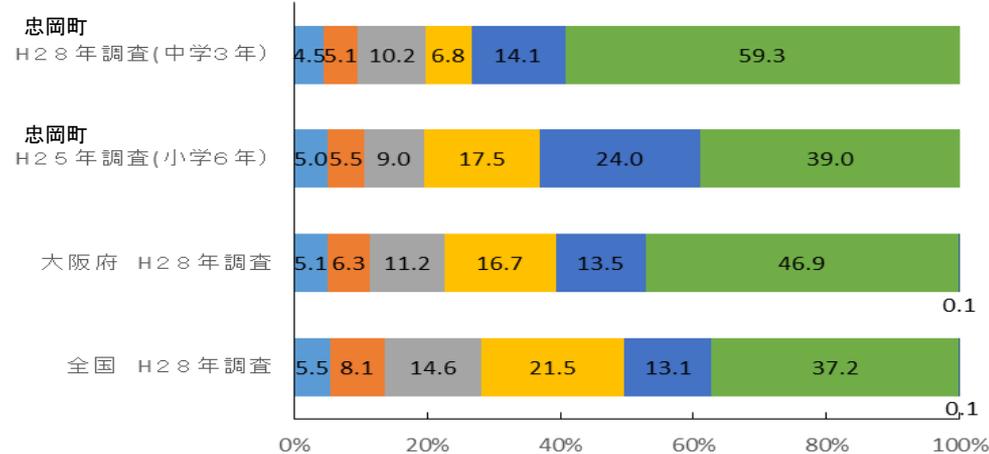
## ④【読書に親しむ子どもたちを育てる】「家や図書館で、普段（月～金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、読書をしますか」

### 小学校



小学校では、学力向上プラン実施開始のH25年度と比較すると「家や図書館で、普段（月～金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、読書をしますか」の問いに対して「0」「0～10分」は、63.0%から57.6%に減少しているが依然全国・大阪府に比べ読書時間は少ない。

### 中学校

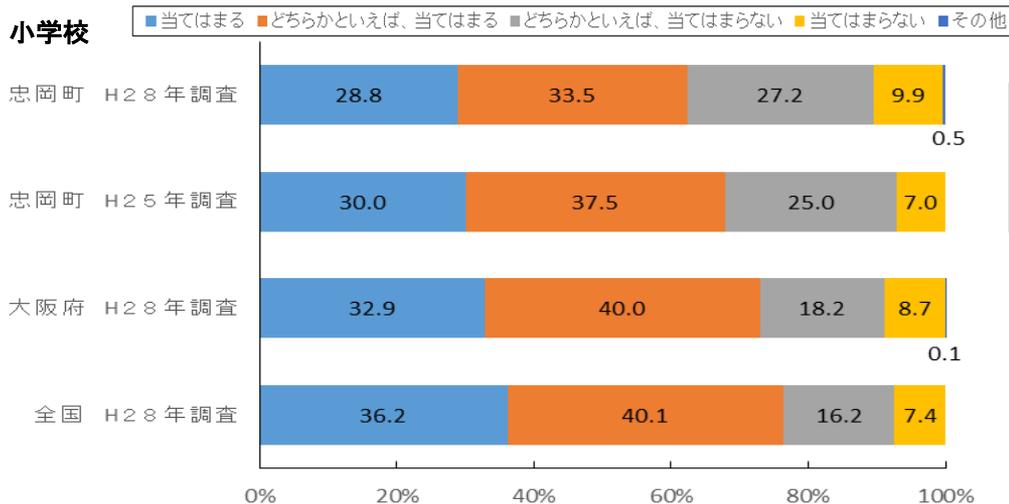


中学校では、学力向上プラン実施開始のH25年度に小学6年生であった児童の追跡調査を行った結果、「家や図書館で、普段（月～金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、読書をしますか」の問いに対して、「10分以上」の生徒は37.0%から26.5%と小学校から中学校に上がると1日当たりの読書時間は減少している。

# 全体の概要についてⅡ（学習状況に関する調査より） ～忠岡町学力向上プラン（H25～H27）重点目標にかかる概要の検証～

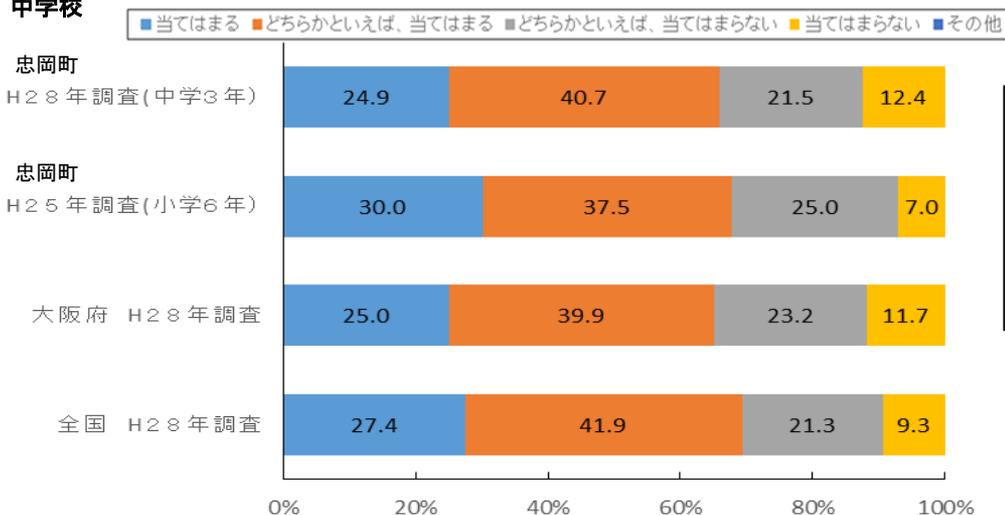
## ⑤【自分には良いところがあると思う子どもたちを育てる】「自分には良いところがあると思いますか」

### 小学校



小学校では、学力向上プラン実施開始のH25年度と比較すると「自分には良いところがあると思いますか」の問いに対する肯定的評価「あてはまる」・「どちらかというあてはまる」は、67.5%から62.3%に減少している。

### 中学校

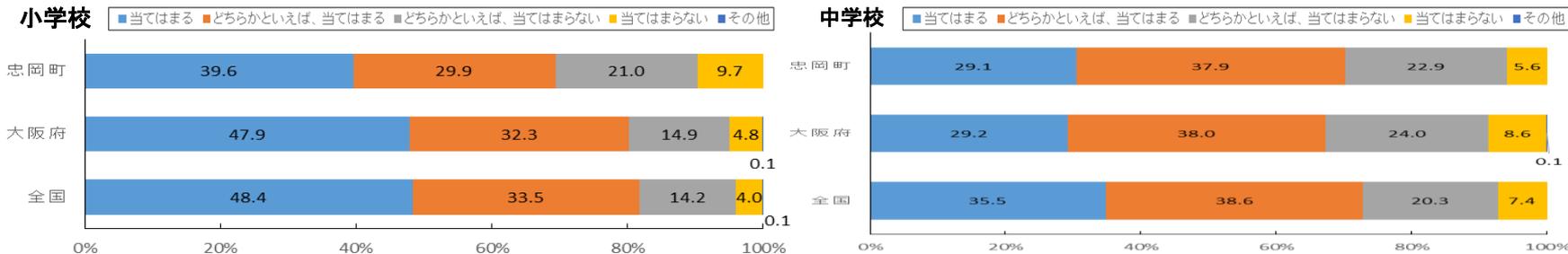


中学校では、学力向上プラン実施開始のH25年度に小学6年生であった児童の追跡調査を行った結果、「自分には良いところがあると思いますか」の問いに対する肯定的評価「あてはまる」・「どちらかというあてはまる」は、67.5%から65.6%に減少している。依然として自尊感情が低い生徒が、中学校で約3割強いる。

# 全体の概要についてⅡ（学習状況に関する調査より） ～忠岡町H28年度の重点取り組みにかかる概要～

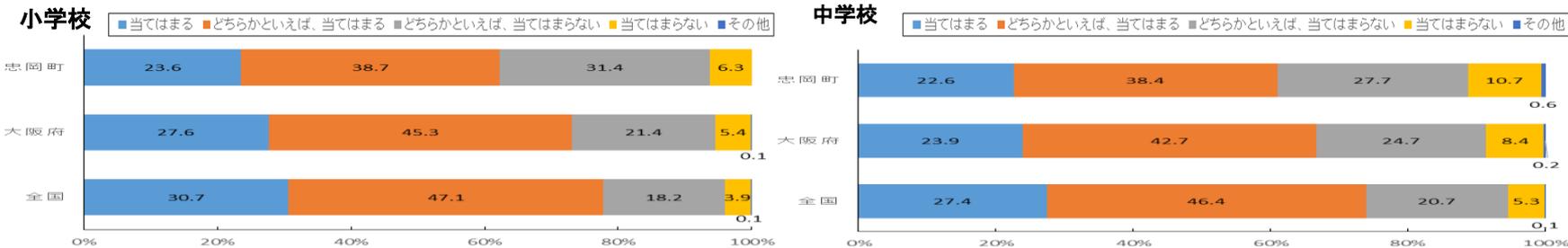
## ①【授業の中でめあてと振り返りを示す】「授業の中で目標が示されていたか。授業の最後に振り返りの活動を行っていたか」

肯定的評価「あてはまる」・「どちらかといえば、あてはまる」は小学校では、全体の約7割、中学校では6割7分であり、中学校は大阪府の割合よりも高評価である。



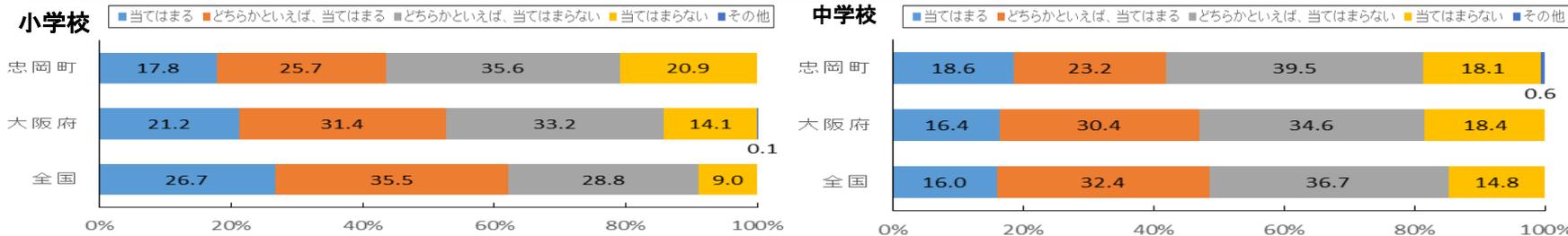
## ②【自ら考え取り組む子を育てる】「先生からの課題や、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか」

否定的評価「あてはまらない」・「どちらかといえば、あてはまらない」と答えた児童生徒は全体の約4割弱おり、全国・大阪府に比べ割合が高く、授業改善に取り組む上の課題である。



## ③【家で計画的に学習する子を育てる】「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」

否定的評価「あてはまらない」・「どちらかといえば、あてはまらない」と答えた児童生徒が全体の5割以上おり、全国・大阪府に比べ割合が高く、課題となっている。



## 忠岡町における学力・学習状況に関する施策

- 忠岡町授業改善推進事業(全小・中学校)・・・小・中学校における教育内容の充実と指導方法の工夫改善を図っています。
- 学ぶ楽しさを育む推進事業(小1・2)・・・小学校1・2年生児童に落ち着いた学習環境の提供と基礎的・基本的な内容の確実な定着を図っています。
- 学力向上サポーター配置事業(小3・4)・・・基礎・基本の定着を図り、「確かな学力」を育むためのきめ細やかな学習支援を行っています。
- 小学校読書活動推進事業(全小学校)・・・小学校に司書を配置し子どもたちの興味関心を高め、本に接する機会を増やしています。
- 学力検査CRTⅡ(小4)・・・児童の基礎・基本における学習のつまづきの把握と効果的な指導につなげています。
- 小・中学校児童生徒学校生活意識調査〈Hyper-QU〉(小5・中2)・・・よりよい学級集団づくりに向けた課題を把握することにつなげています。
- 授業力向上支援・・・教員の授業力向上に向けた授業観察、及び指導・助言を行っています。
- 授業力向上のための教員研修・・・教科・領域・校種の枠をこえた授業改善と校内研修を活性化につなげています。
- 忠岡町授業改善プロジェクトチーム会議・・・学力にかかわる情報共有と各校における学力向上を推進しています。
- 小・中学校生徒指導連携会議・・・小・中学校の9年間を見通した取組の共有と連携を推進しています。
- 忠岡町英語教育推進事業・・・小・中学校教員の英語指導力を高めるために、研修等を実施しています。